

3 人権・労働

発表者:小吹岳志

調査者名:小吹岳志・山岡万里子・萱野智篤



● 調査のポイント

① 「ビジネスと人権」は新たな段階へ

【前】「国連主導の新たな取組み」⇒

【今】「いかに日常業務に組み込むか」

=人権デュー・ディリジェンス策定・実施

② ラナ・プラザビル倒壊事故以降のアパレル業界

自社のみならずサプライヤーにおいても労働者の人権が守られているかどうか、企業に欠くべからざる視点に。

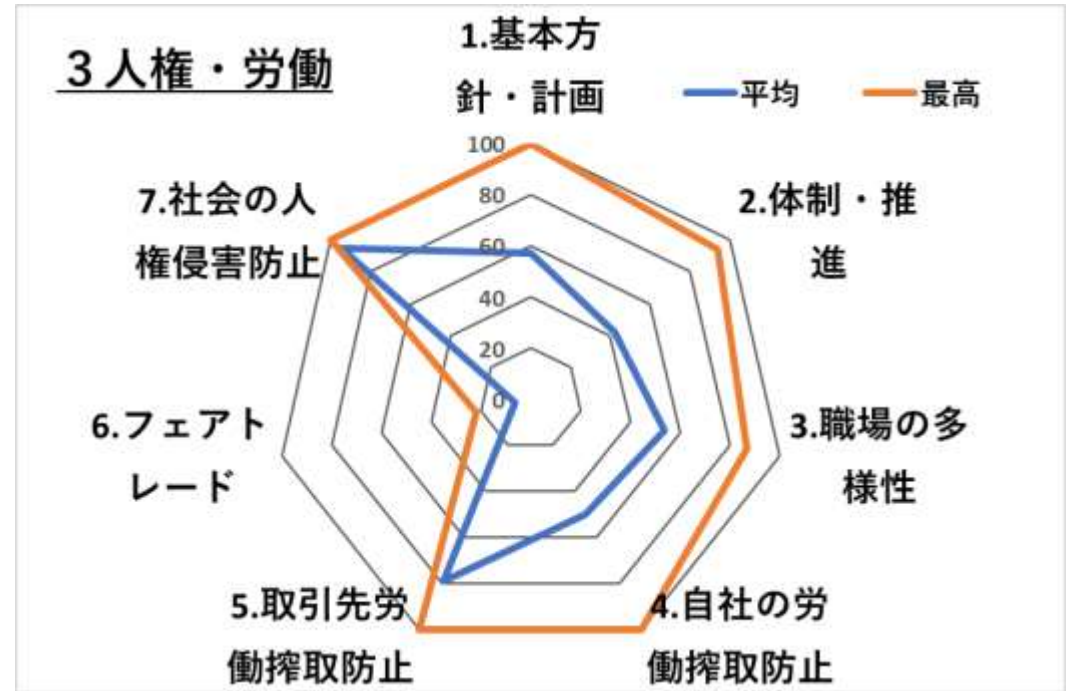
↓

日本企業も投資家・消費者の厳しい目に晒される

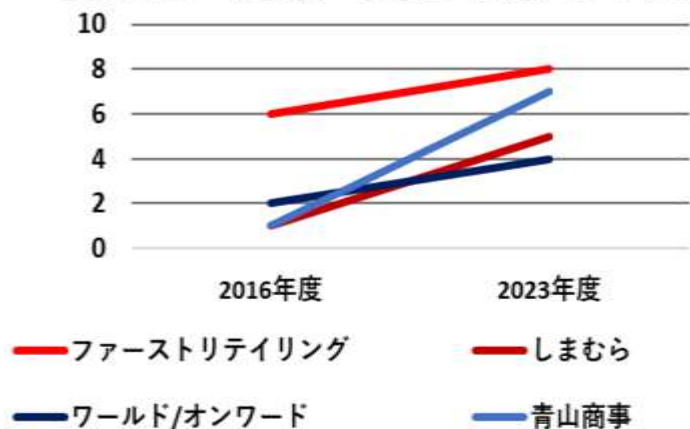
↓

企業の取組みが改善・活発化

● 調査結果のレーダーチャート



3.人権・労働 2016年度との比較



③ 2016年度の調査対象5社すべてで、今回評価が上昇 特に青山商事は「1」から「7」へ



人権に関する基本方針・体制／職場の多様性への配慮

● 中項目1.2. 人権に関する基本方針・計画／体制・推進

- ・ 世界人権宣言・ILO宣言などの採用 **5社**
- ・ 人権デューディリジェンス(人権DD)の全プロセス実施 **3社** (FR、良品計画、ワコール)
- ・ 人権DDプロセスの部分的実施 **2社** (青山商事、UA)
- ・ 中長期計画への人権尊重の言及 **6社**
- ・ 人権方針推進体制の整備 **7社** (研修、相談窓口設置など)



● 中項目3. 多様性に配慮した職場環境の整備

女性活躍、子育て支援、障害者雇用に関しては、**全企業**が何らかの取組みを実施。

- ・ 子育てサポート企業「くるみん」認定は**4社** (ワコール、オンワード、青山商事、UA)
- ・ 女性管理職比率も**各社**向上。
- ・ 障害者雇用率はほぼ**全社**が法定以上の2.4%を達成。障害者雇用策も実施。
- ・ LGBTQ+への何らかの取組みは**7社**が実施
(FR、アダストリア、良品計画、ワコール、TSI、青山商事、UA)
- ・ うち**4社**は、「同性パートナーを異性配偶者と同等に扱う」などの配慮





労働搾取の防止、労働者の権利の保護

● 中項目4. 自社における労働搾取の防止・労働者の権利の保護

- ・ 「強制労働の防止」「労働時間や賃金」「労働組合」などについての設問。
- ・ 「労働基準法を遵守しており自明」として、社内規定にはあっても非公開が多かった。
- ・ **FR** 「強制労働防止のため、パスポート等の会社による保管や移動の自由の制限は行わない」
- ・ **ワコール** 外国人技能実習生が働く自社グループでアンケートを実施し、労働搾取を防止。
- ・ 実際には労働関連法遵守だけでは防ぎきれない人権侵害も。
- ・ 就活生にも必要な情報⇒積極的に公開を！

● 中項目5. サプライチェーンにおける労働搾取の防止・労働者の権利の保護

- ・ 取引先の監査・調査は**8社**が実施。
- ・ 「サプライヤー取引調達基準」等の策定・公開が**9社**。
- ・ **約半数**がパスポート保管禁止、離職の自由保障、体罰禁止、強制帰国・脅しの禁止を要請。
- ・ 調達の判断基準に人権尊重を含む **7社** (**FR、しまむら、アダストリア、良品計画、ワコール、オンワード、青山商事**)

《新疆綿の使用について》

新疆ウイグル自治区における強制労働など人権侵害への加担が疑われ、アパレル業界の対応が注目。取引を停止した企業がある一方、取引先への厳しい監査・調査を通じ人権侵害が無いことを確認していると主張する企業も。実際にSSRCで裏付け調査はできないため、具体的な説明を回答した企業については、その主張を採用した。





フェアトレード／社会全体の人権

● 中項目 6. フェアトレード

- ・ フェアトレード（FT）はSDGsの少なくとも8目標に有効。
- ・ 過去にFT製品を販売していたのは**ユニテッド・アローズ**。
- ・ 人権への配慮を含むサステナブルな基準（BCI、GOTS認証、トレーサブル素材、エコテックス®メイドイングリーン）**5社**（**FR、アダストリア、良品計画、ワールド、青山商事**）。
- ・ 就活生も社会貢献企業への関心が高い。エシカル消費普及のためにも、FT導入を期待する。



● 中項目 7. 社会全体での人権侵害助長の防止

- ・ ジェンダー役割固定や性の商品化を助長／あらゆる差別を助長するようなCM、広告、幹部発言などの有無を問う設問。⇒ **今回は目立った事例は無かった。**

● 全体的に...

- ・ 「人権・労働」は評価が「4」から「8」におさまり、業界全体として、ある程度取組みが進み始めている印象。人権DDの取組みが始まったばかりの企業もあり、今後の動向に注目したい。